

事業者名	仙台プロパン株式会社	所在地	宮城県多賀城市
事業内容	「LPガスユーザー宅に設置された機器により保安、検針、ガス残量情報等を取得する事業」		
補助事業者の概要			
1. 現地調査場所	仙台プロパン株式会社		
2. 事業実施期間	令和2年9月15日～事業完了日: 令和2年12月15日		
3. 事業費用総額	5,840,000円	補助金額	2,920,000円
稼働・運営状況			
4. 令和2年度までのLPWA累計導入率	14%		
5. 集中監視センター設備	<input type="checkbox"/> 自社所有 <input checked="" type="checkbox"/> 共同利用(事業者:アズビル金門)		
6. 配送	<input checked="" type="checkbox"/> 自社配送 <input type="checkbox"/> 他社委託		
7. 保安	<input checked="" type="checkbox"/> 自社保安 <input type="checkbox"/> センター委託		
8.-1			
 <p>本社社屋 遠隔監視の様子 (佐々木克志部長) パソコン画面上で顧客情報を管理 LPWAで効率化を目指す</p>			
8.-2 検針値データの活用			
<input type="checkbox"/> システム連携 <input checked="" type="checkbox"/> 販売管理 <input type="checkbox"/> 料金請求 <input type="checkbox"/> 配送 <input type="checkbox"/> 保安			
9. これまで導入しなかった、導入が進まなかった理由			
<input type="checkbox"/> 初期コスト <input type="checkbox"/> ランニングコスト <input checked="" type="checkbox"/> トータルコスト <input type="checkbox"/> 導入までの時間 <input type="checkbox"/> LPWAの知識がなかった <input type="checkbox"/> 補助金の認知不足 <input type="checkbox"/> その他			
具体的な理由	LPWA以外への設備投資を行っていたため中々進められなかった。トータルコストは勿論であるが、人的にも厳しい状況にあったが、LPWAの開発によって、従来システムに比べ、導入に伴う設置コストが大幅に改善されたことなど。		

10. 事業の導入で得られた効果(内容・数値)	
①検針業務	
<input checked="" type="checkbox"/> 作業時間 <input checked="" type="checkbox"/> 日数 <input type="checkbox"/> 人数 <input type="checkbox"/> 費用 <input type="checkbox"/> 車両代・燃料費 <input type="checkbox"/> 読取りミス <input type="checkbox"/> 検針遅れ <input type="checkbox"/> その他	
具体的内容	基幹電算システムとの自動連携が完了しておらず、まだ手作業での検針データの取り込みのため、導入効果を得られるところまで至っていない。しかし、実検針業務としては検針作業時間および日数においては、軽減されている。遠隔地やオートロックのマンションなどの検針業務の効率化に寄与。自社員による検針なので、一部業務の効果はでている。
②コスト面でのメリット・デメリット(内容・数値)	
<input checked="" type="checkbox"/> イニシャルコスト <input type="checkbox"/> センター費用 <input checked="" type="checkbox"/> 通信費 <input type="checkbox"/> その他	
具体的内容	現段階では、コスト面ではメリットはない。導入費用および通信費の経費だけが増え、それに見合った効果を得られていない。残量監視、配送管理に検針データなどがリアルに連携していければメリットも出てくるだろう。
③その他の業務面でのメリット(内容・数値)	
<input type="checkbox"/> ガス料金代請求業務 <input type="checkbox"/> 開閉栓 <input type="checkbox"/> 緊急遮断 <input type="checkbox"/> 緊急出動 <input type="checkbox"/> 認定保安 <input type="checkbox"/> 1号 <input type="checkbox"/> 2号 <input checked="" type="checkbox"/> 無し <input type="checkbox"/> その他	
具体的内容	具体的にはまだ、保安的要素等は活用していない。今後、第2号認定LPガス販売事業者の取得に向け導入を推進していく。
④配送面での効果(内容・数値)	
<input checked="" type="checkbox"/> 残量監視 <input checked="" type="checkbox"/> 配送予測 <input type="checkbox"/> 燃料消費量 <input checked="" type="checkbox"/> ガス切れ防止 <input type="checkbox"/> 残ガス率 <input type="checkbox"/> 全数交換 <input type="checkbox"/> その他	
具体的内容	基幹電算システムとの連携が進んでいないため、更なる残量監視や配送予測、ガス切れ防止効果は、まだ先である。
⑤その他の合理化・効率化効果(内容・数値)	
<input type="checkbox"/> 災害時の被害状況把握 <input type="checkbox"/> 見守りサービスなど顧客サービス <input type="checkbox"/> 人手不足 <input type="checkbox"/> 高齢化 <input type="checkbox"/> 労務管理 <input type="checkbox"/> 残業時間 <input type="checkbox"/> 休日出勤 <input checked="" type="checkbox"/> その他	
具体的内容	現段階では目立った効果はない。メーターの遮断については、順次連絡がくるので、対応がし易くなったことはメリット。また、遮断した理由も分かるので、お客様からの連絡、問合せにもすぐに回答することが可能であり、保安上でも安心感につながっている。
11. 反省点、課題、要望(補助金、メーカー) 具体的内容	
<p>第2号認定LPガス販売事業者の取得と検針業務の軽減、配送業務の効率化、そして保安業務の高度化を目標としてスタートさせたが、基幹電算システム(パーパス)との連携が本格化していないため、経費だけが増え続け導入効果が得られていないのが現状である。まずは基幹電算システムとの連携が急務である。また、解決して頂きたいことは、自動検針できない箇所がまばらに出てくること。地域性や通信環境等によりデータが取得できず、その1軒のため現地に行かなければならない。これは、大変非効率で大きなデメリットである。今後、最大の効率化を図るには是非とも改善して頂きたい部分。</p>	

12. 継続のモチベーション、今後の展開・方針、将来展望 具体的内容

継続のモチベーションは、まずは緊急時の対応距離緩和のため、第2号認定保安を出来るだけ早く取得すること。一般的にIOTRの導入によって検針業務の軽減および配送業務の効率化を図ることによって人員を削減し、結果トータルコストの軽減が図られれば会社にとって導入のメリットがでる。しかし、弊社においては、人員削減ではなくその人員を最大限に活かし強いチームワークのとれた活力ある組織にすること。その内容は、お客様および地域社会との信頼の絆を深めるためお客様の「あらゆる困った!」を解決できる「住いと暮らしのトータルライフソリューションカンパニー」を目指し、お客様の快適で豊かな暮らしづくりをサポートする、をスローガンとして日々お客様へのサービス強化を人員削減と同等の効果、それ以上の効果のあるサービスに育てていきたいと思っている。今年には新たな5カ年計画のスタートであり、計画期間中に認定保安の認証が取れるように導入を進めていきたい。